

第 20 回日本生殖心理学会学術集会

P- 1

東京、2023. 2. 4-5

当院の YouTube 配信が不妊治療患者にもたらす影響について

—アンケート調査結果から—

大内 美紀<sup>1</sup> 松山 由紀子・ 皆吉 田津子・中岡 義晴・森本 義晴<sup>2</sup>

<sup>1</sup> IVF なんばクリニック

<sup>2</sup> HORAC グランフロント大阪クリニック

### 【目的】

当院では、2020 年 4 月から 3 組の夫婦の人形を使用し、不妊治療全般についての具体的な情報収集ができる動画を複数作成し YouTube で配信している。作成した動画が不妊治療中の患者にどのような影響をもたらしたかを明らかにする為アンケート調査を実施した。

### 【方法】

2020 年 5 月から 2022 年 11 月に通院した患者を対象に WEB アンケートを実施した。アンケートは個人情報保護の上で発表等に利用することを明示し、返答をもって同意を得ることとした。そのうち動画閲覧歴のある 172 名を調査対象とした。

### 【結果】

閲覧者の治療段階は「体外受精」133 名が最も多く、閲覧項目は「体外受精」148 名「医師の検査や治療の説明」127 名であった。閲覧のきっかけは「当院のホームページ」115 名、「スタッフから」36 名であった。閲覧目的は「実施予定の検査・治療を知る」118 名、「理解に役立つ」102 名、「治療前の視聴で心の準備ができる」95 名が上位となった。閲覧後の感想は「わかりやすかった」125 名、「知識が増えた」120 名、「安心した」67 名であった。同じ動画を複数回視聴したかでは「ある」126 名 (73.3%)、なぜ複数回視聴したかでは「見たい時に視聴」74 名であった。視聴した後の問いに「夫婦に置き換えてみた」28 人、「ストーリーが気になった」18 人、また自由回答で「擬人化して見れた」「早めに知りたい内容があった」という意見もみられた。

### 【考察】

体外受精治療中の方が、今実際に行っている治療についての医学的根拠ある動画を閲覧していることが最も多かった。好きな時に利用できる YouTube を事前に繰り返し閲覧することが、多くのプロセスがある複雑な治療の理解に役立った。人形を擬人化し自分に置き換え閲覧出来たことが、治療前の心の準備となり安心へ繋がった。早めに情報を知

りたい患者に対し初診時から QR コード付きパンフレットを配布するなど、患者が求めるときに必要な情報が得られるような情報提供の方法が今後の課題と考える。